

I. "悦楽の" Business Master Class

目的	<ul style="list-style-type: none">・ビジネスの本質を理解すること・景気などに振り回されない骨太のビジネスを構築すること・ビジネスを通し自分の理想や理念を形にする方法をマスターすること・自分が“本当に”やりたいビジネスを成功させること
内容	<p>昨今、ビジネスが非常にやりにくい世の中になったといわれている。コンサルなどはほぼ役に立たず、倒産する企業も右肩上がり。残念なことに、多くの企業が事業を縮小し、ネットビジネスでもサラリーマンやアルバイトに戻る人が後を絶たないのが現状である。そんな現在、何らかのビジネスを成功させていく上で最も必要なのは、パラダイムシフトであると言える。パラダイムシフトは、いろんなコンサルや書籍が言うような「考え方を変える」などという軽いものでは決してない。そこには、大きな苦痛が伴うし、ほとんどの人は実際にはできない（だから倒産し、破産していく人が増え続ける）。</p> <p>このクラスでは、ビジネスとは自己表現であり、同時に誰かを助けることである、というのが大前提となったビジネス観のもとに、景気に左右されず、自分がその時本当にやりたいビジネスをやり、そして「成功」させていくマインドセット、技術、方法、知識を総合的に学んでいく。「成功」の定義は一意に決めることはできないため、単純に「金額」のみを指すのではない（もちろん金銭的成功を無視してビジネスの成功は原理的にありえないが）。結果として、本当の意味でのパラダイムシフトが達成されるような、どんな時代であっても成功していけるような人間になりビジネスを生み出すことができるようになるためのカリキュラムを考えている。</p> <p>そのため、理論と実践のバランスを重視したクラスにする。つまり、ビジネスの本質などの理論的な部分もちろん外さないけれども、同時に「それを今、まさに自分のビジネスにどう活かすべきか」という話も適宜するという。知識としてビジネスをマスターするだけではなく、現実の世界においてビジネス的成功を達成してもらうためのクラスというイメージでいてもらえれば、大きくは外れない。</p> <p>また、僕のセミナーは非常に参加者のレベルが高いことでも有名であり、当然ビジネス的に成功している人も非常に多い（でない、と、参加費が高額なために参加できないという面もあるのかもしれない）。そのようなレベルの高い人たちに囲まれて学ぶことの意味、そしてそんな人たちといつでも情報交換できるということの意味、それがわかる人にはまさにプライスレスだと思う。</p> <p>他のセミナーではすぐに「月いくら稼いでいるんですか」みたいな話が出たり、人として狭い</p>

	<p>としか言いようのないテクニックが称賛を浴びたりしているらしい。そんな低レベル、というか低能な人は僕のセミナーにはいないし、いたら除籍するルールで一貫してやっている。だから、そーゆー世界に吐き気がしている人も、きっと「ああ、こんなまともな場所があったんだ」と思ってもらえると思う。と同時に、ビジネスは、まさに人生における“悦楽”への扉であると確信してもらえないのではないかな、とも思う。</p>
教材	<p>コトラーやドラッカーなどの世界的に評価が高い割に、案外ちゃんと読んだことのある人がほとんどいない文献、読んでもほとんどの人が実は正しく理解できていない文献、各種ビジネス・経済書、未邦訳のビジネス・経済書、また海外の優良な情報商材などをもとに、木坂が完全オリジナルテキストを作成する。</p> <p>それ以外にも必要に応じて思想書などの類も用いるが、専門的な訓練を受けていることは前提としないし、その場合も別に哲学そのものを学ぶことを目的としているわけではない（その目的はリーディングの講座に譲る）。つまり、「哲学書？何それ？」という状態でも問題ないということである。一言で言えば「理論と実践」を満たすために必要なものを必要なだけ用いて、木坂オリジナル教材を作り、それを使って学んでいくということであり、また、ケーススタディも重視するということである。</p>
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・すでにビジネスをやっているうまくいっているが、さらなる成功を手にした人 ・すでにビジネスをやっているが現状うまくいっておらず、起死回生を誓う人 ・今後起業したい人（失敗のリスクを最小限にしたい人） ・現在の自分の在り方に満足できず、好きなことを好きな時にやれるようになりたい人 ・ビジネス的な知識欲を満たしたい人
形式	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回セミナー開催（8月と1月は休みとする） ・2ヶ月に1回の1対1コンサルティング付属（各60～90分程度） ・メール相談回数無制限 ・各セミナーのビデオ・資料配布（ダウンロード形式） ・半年に一回懇親会開催 ・2010年5月開始 ・定員30～50名程度 ・希望者多数の場合は選考あり
価格	<p>1年一括：70万円 半年×2：35万×2回 4回払い：18万×4回 10回払い：8万×10回</p>

II. "陶酔の" Intelligence Master Class

目的	<ul style="list-style-type: none">・政府やマスコミを中心に行われる洗脳に気づけるようになること・物事の“裏側”を掴めるようになること・有象無象の情報から本当に価値（意味）のある情報を見抜けるようになること・“陰謀論”と“真実”を区別できるようになること・読書の質を飛躍的に向上させること・そもそもの頭をよくすること
内容	<p>我々は普段生活する中で、知らず知らずのうちに洗脳されている。それが誰による洗脳かは一概には言えないが（講座の中では一つずつ解説するが）、情報が増えれば増えるほど、洗脳される確率は高くなる。当たり前のことだが、情報は、「誰かが」「ある目的のために」「意図的に」流すものであり、一定以上の情報を正しく処理することは、適切な訓練を受けていないと不可能だからである。それら情報の上に乗っかって真実を覆い隠しているもの達をはぎ取り、いわば「むき出しの情報」を手に入れることが、極度に進んでしまった情報社会を生き抜く唯一の方法である。</p> <p>そのため、この講座では比較的時事的なテーマ、題材を用い、「裏を読む・真実をつかむ」ことを目標に訓練を行う。ただし、特殊訓練というよりは、ひたすらに正確に情報を読み取り、行間を読み、裏を読む、といった地道なものになる。派手な裏技とか、魔法のようなものを期待してはいけない。実は「望む情報は、その辺に転がっている」のだけれども、脳みそ自体が腐らされているために、その情報を得られる人はほとんどいない。その状況を打開したい人に向けたカリキュラムを作成する。</p> <p>もちろん、情報収集法についても解説するし、データなどの数字に騙されない力も養うし、質問の技法についても力を入れて学ぶ。正しい問いがたてば、正しい答えが見つかると言われる。そうして正しい答えを積み重ねていけば、真実に、真理に近づくことができる。逆に、誤った問いからは誤った答えしか導かれず、それを積み重ねれば積み重ねるほど、つまり一生懸命勉強して頭を使えば使うほど、求める真実、真理からは遠ざかることになる。言い換えれば、人生における成功や幸福からも遠ざかってしまうということを意味する。</p> <p>ある情報を処理するためには、非常に幅広い知識と視点、頭の使い方が必要になる。新聞に載っているある一つの記事ですら、政治的な背景、文化的な背景、時代的な背景、社会的な背景、メディアのイデオロギー的な背景、様々な利害関係など雑多な要素が絡み合い、真実を覆い隠されている。それを読み解くには、単に日本語を理解する能力があればいいわけではなく、専門的な訓練が必要だと言わざるを得ない。そういった訓練を行い、必要な能力を一つ一つ身につけていくことが、このクラスの主な内容となる。</p>

	つまり、一言でまとめれば、情報処理能力、つまり正しく正確に情報を処理し、また真実を見抜いていく力と、そもそもの頭の良さを鍛えるという二つの大きな内容を達成することを主眼に置いた講座にするということである。「どちらか一方」ではなく、両方である点が重要で、結果として驚くほど世界の裏側や権力者たちが必死に隠そうとしている事実気づいてしまい、そんな自分に思わず“陶醉”してしまうことを約束できる講座にする。
教材	<p>木坂が選び、作成したオリジナルテキストを用いる。比較的時事的なテーマや題材を多く用いる予定ではあるが、特に制約を設けず、上記の目的を達成するために最も効率的であるような教材を作成する。「テキスト」とは書いているが、使う教材は場合によっては映像のこともあるかもしれないし、音声のこともあるかもしれない。「インテリジェンス」というのは、世界のすべてが「情報」であり、そこから何を得るか、ということの問題にする能力である。だから、当然文字情報に限定する予定はなく、必要なら絵とか写真とかすら用いるかもしれない。</p> <p>その意味で、よく表現すれば「柔軟」な、悪く表現すれば「統一感のない」感じの教材になると思う。現実には、我々が考えるよりもずっとカオスである。そのカオスを読み解こうとするなら、当然カオスな教材を使う必要がある。その事実が理解できない人は、もしかしたらついてくるのがしんどいかもしれない。逆に共感してもらえらるなら、他に類を見ない、非常に興味深い教材と講座になると思う。</p>
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中にあふれる洗脳に気づき、自分と自分の周りの人を守りたい人 ・自分の頭で考え、自分の人生を楽しく充実して生きたい人 ・あふれる情報の海で溺死しないため、情報処理能力を飛躍的に高めたい人 ・地頭をそもそも良くしたい人 ・行間を読み、裏を読み、真実に到達できるようになりたい人
形式	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回セミナー開催（8月と1月は休みとする） ・メール相談回数無制限 ・各セミナーのビデオ・資料配布（ダウンロード形式） ・半年に一回懇親会開催 ・2010年5月開始 ・定員30～50名程度 ・希望者多数の場合は選考あり
価格	<p>1年一括：70万円</p> <p>半年×2：35万×2回</p> <p>4回払い：18万×4回</p> <p>10回払い：8万×10回</p>

Ⅲ. "断末魔の" Text Reading Master Class

目的	<ul style="list-style-type: none">・「本を読む」という一見簡単な作業の本質と深みを理解すること・難解な哲学書をはじめ、どのような本であっても読める技術を養成すること・1を読んで10を知る能力と技術を養成すること・「わかったつもり」の罠にはまらない頭を作ること
内容	<p>「あなたは本当に、正確に本を読めている自信がありますか」と聞かれて、内心ドキッとしてしまう人のための講座である。哲学書や本格的な経済書などを「難しい」と感じ、読むのをあきらめていたり、適当に読み流していたりしている人は当然として、特に「一生懸命読んで理解できた」と“勘違い”しているあと一歩な人たちのための講座になるはず。本を読むことは何にも代えがたい貴重な体験だし一生の財産になるが、本当の意味で本を読めている人などほとんど皆無であると、僕は自信を持って言うことができる。年間1000冊の本を読んで得意げになっている人など、1冊も読まないのと同じである。</p> <p>この講座では、「本当の意味で本を読める力」を、特に哲学や経済学、文学など、その時その時選んだ、今だからこそ読むべき価値ある本を使いながら、原典で読んでいく力を養成する。原典、といっても原語には（こだわりたいけど）こだわらない。外国の文献を読む際にも、基本的には日本語訳を用いるため、語学力に関しては不問とする。原語がどうしても必要な場合は、適宜こちらで一つ一つ解説する。本音を言えば、英語がある程度読めると、とてもよい。</p> <p>今はインスタントな時代であり、目先の利益や結果を追いかけ、振り回され、多くの人々は不幸になっていく。長期的な視点が持てず、頭では、「これじゃいけない」とわかっているのだけど、「答えが出ない」という状態に耐えられないのである。しかし、世の中答えがあることなんてほとんどないわけで、つまりこの世の中で成功し楽しく生きていくためには「答えが出ない」という状態に、いかに耐えることができるか、どれだけ長い時間耐えることができるか、が一つのポイントになる。残念なことに、我々は、長い目で見て、本当に価値があるのは何なのか、ということが、考えることはできても、その過程に耐えることができないのである。</p> <p>本当に価値のあるものは、当然インスタントではない。インスタントなものがあふれる時代だからこそ、その事実は際立ってくる。そんな時代をどう生きていくか、その素養を鍛える目的もある。僕自身、学生時代に、1行のギリシア語の文章を日本語に訳すのに2時間かけたことがあるし、カントの著作の2ページ程度を理解するのに半年かかったこともある。そんな体験をたくさんして、非常に大きなものを得たことは間違いない。この講座では、その「あきらめず、考え抜く力」を得てもらうことに主眼を置いている。もちろん、その過程は“断末魔”の叫びが幾度となく聞こえるものになるだろうが・・・。断末魔の先には桃源郷があると信じられる人にだけ、価値と意義のある講座になると思う。</p>

<p>教材</p>	<p>一人で勉強してはほぼ確実に読みこなすことのできない文献を中心に、木坂がオリジナルで作成したものを用いる。思想関係が中心になるかと思うが、有名な経済学上の文献であるとか、理科系の文献であるとか、小説であるとか、そのジャンルを限定するつもりはない。一目見て難解で読めない感が力いっぱい漂う文献に限らず、「一応読んでわかった気になることはできるけど実際にはまったく読めていないことがほとんど」という文献（例：「大衆の反逆」など）も多く用いる。</p> <p>ただ、大学の講座のように、ひとつの文献をダラダラと読みこなしていくというよりは、ある問題意識にそって縦横無尽に様々な文献を読みこなしていくスタイルにする。ひとつの文献は、その文献だけで完結して理解できることなどほとんどない。その文献の背景に隠れてしまっている膨大な文献、あるいはその持つ現代的な意味などをも読み解く必要があるからだ。そのことをも念頭に置き、教材を作成する。</p> <p>基本的には「あるテキストを極限まで正確に読み解く」ということを目標にした講座であるしそのための教材を作るのだが、多少、欲張りな気持ちもあり、単に「原典を理解できればそれでよし」で終わらずに、理解したあと、どれだけ「今の」自分の人生に活かすことができるか、をも加味して作成していくことになると思う。その点が、大学やカルチャースクールなどの講座とは決定的に違う点であり、また意義がある点だと個人的には考えている。</p>
<p>対象</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・精読というものを本気でマスターしたい人 ・“本当の”速読をマスターしたい人 ・哲学書など難解な本を自力で読めるようになりたい人 ・読書の質を極限まで高めたい人 ・脳みそを徹底的に鍛えぬきたいM的な人
<p>形式</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回セミナー開催（8月と1月は休みとする） ・メール相談回数無制限 ・各セミナーのビデオ配布はなし（音声と資料配布はあり） ・半年に一回懇親会開催 ・2010年5月開始 ・定員10～20名程度 ・希望者多数の場合は選考あり
<p>価格</p>	<p>1年一括：65万円 半年×2：33万×2回 4回払い：17万×4回 10回払い：7万円×10</p>

【結構大事な独り言】

1. 3つすべて申し込む場合の価格に関して

3つすべてを受講する場合、年間一括払いなら驚きの125万円に。半年×2は65万×2。4回払いは35万×4回、10回分割は15万×10回（すべて税込）。

要するに、2つ以上受講する気があるなら3つ受講したほうが安いですよという誘導的な価格設定であります（笑）。というのも、ちゃんと理由がありまして、同じ人が3つ受講している方が、3人がひとつずつ受講しているよりもはるかに管理が楽だし、何より、上を読んでもらったらわかると思うんですが、相乗効果を考えて講座を企画しているため、参加者の顕著な成長が期待できるということで、個人的に楽しみが増すという面があるわけです。

3つ受けたら、人生変わると思います。ここまで体系的に脳みその構造から変えてしまう企画をしたことはなかったのです。それを実感してほしいというエゴもあります。自分のセミナーの素晴らしさを証明したいという自己顕示欲かもしれません。何にせよ、2つ申し込むなら3つどうぞ、が合言葉です（笑）。

あと、マスタークラスには基礎講座がすべて含まれます。

つまり、マスタークラスをどれか一つでも受講していただければ、基礎講座は3つとも自動的に受講になりますし、書評も付きます。ですから、基礎講座に追加してマスタークラスの受講費を支払うというのではなく、マスタークラスの受講費「のみ」で基礎講座分もまかなえる、ということです。

ややこしくて申し訳ないですが、そうご理解ください。

2. 開催日程について

これらの講座は、基本的にライブで参加してくれることを前提にしています。もちろんリーディング以外はビデオが配布されるので、大丈夫といえば大丈夫なのですが、やはりライブに勝るものはありません。できれば、僕個人としてもライブで参加してほしいと思っています。

そこで、各講座2クラスずつにわけ、土日クラスと平日クラスとして両方開講することにしました。

つまり、土日しか出れない人でも、平日しか出れない人でも大丈夫だということです。ピンポイントで「この曜日以外はダメです」とかいう希望にはなかなか答えられないかもしれませんが、できるだけ希望には沿うよう努力します。

さらに、遠くから来られる方も多ということで、各日程はできるだけ一ヶ所に固めます。3講座ができる限り連続するように日程を組むということです。僕は極度の乗り物嫌いで移動も嫌いなのですが、そういうこともあって毎週東京に来ていただくとか、さすがに心苦しくて（苦笑）。土日クラスは2日で3講座やるわけにもいかず、どうしてもひとつ離れてしまいますが、そこはご容赦を。

3. ボーナスについて

今回、3つすべての講座を受講される方には、2009年度に開催したCMCのビデオ、音声、資料一式を無料で差し上げます。

1年間の参加費が最高で110万円近かった講座です。ライブで参加できない、個人面談は付属しない、ディスカッションもない、といったように、もちろん完全なCMCではありませんが、セミナーのビデオや配布した資料などはすべて差し上げます。今回のマスタークラスのための土台作り（＝頭作り）にきつと役立つと思いますので、そんな視点をご覧ください。

あ、それから2009年の12月に、僕にしては珍しく外部の人のところでセミナーをして、その時の映像をCMCでは配布したのですが、それもお付けします。2日間にわたってビジネスのビの字も知らない、生まれてから一度もそんなこと考えたこともない、というような人たちを相手に、ビジネスとは何ぞや、という話をしてきました。合計で6時間くらいあると思うのですが、そのビデオと配布した資料一式をセットで差し上げます。

僕はよそでセミナーをすることがまずないですし、内容的にも「ビジネスを120%知らない」人に向けてのセミナーなどまずしないので、そう言った意味で貴重な映像かもしれません（笑）。

この特典は、お支払方法に合わせて配布いたします。一括の場合は、お支払いいただいた時点ですべて一気にお送りしますし、10回払いの場合は、毎月ひとつずつお送りするということです。

また、このCMCのビデオは単体での販売もしていますので、これだけほしい、という場合は無理に3つ申し込まなくて大丈夫です。これを読んでいるということは基礎講座にお申込みいただいたことだと思いますが、今回基礎講座をひとつでも申し込んでいただけた方は、先行扱いで申し込めるようにしてあります（マスタークラス用の申し込みフォームを見ただければわかります）。

4. 仲間というものについて

今回はどの講座も、半年に一回懇親会を開催することになっています。仲間がいる、というのは、あま

りに陳腐で、できることなら口にしたい言葉ではないのだけれど、とても素晴らしいことだと思うんです。もし、完全に一人ぽっちでやる学習だとしたら、なかなか効果というか成長した実感が出なかったり、そもそも継続すら難しかったりするのではないかと個人的には思います。今回、かなり負荷の高い課題を与えるつもりですし、セミナー自体、なるべく楽しいものにするようには努めますが、難易度という意味では決して易しいものではないはずです。それを1年間も継続していくわけですから、やはり志を共にする仲間の存在は必要なのではないかな、と。

本音を言えば、僕自身は、昔からひとりぽっちでやる学習が好きだったし、それはそれで効果的な場面もたくさんあると思います。ひとりきりでひたすら内省の深みにはまっていくような、そんな学習も人生においては絶対に必要です。しかし、そればかりでも、うまくない。哲学者の少なからずが発狂して死んでいるのも偶然ではありませんし、哲学そのものに問題があるわけでもありません。

彼らには、ただ志を共にし、時に語り合う仲間がいなかったのです。

勉強するとは、自分を成長させるとは、どんなに嫌でも最終的には勝手に孤独な作業になります。だから、意識して求めるべきは、ひとりきりの環境ではなく、むしろ志と能力の高い仲間なのではないか、むしろそっちのほうが貴重なのではないか、と思うのです。正直、かつては仲間なんて安っぽいものは必要ない、信じられるのは自分の頭だけだ、と錯覚して突き進んだ時期もありましたが、志を共にする仲間は、いないよりいた方がいい。そう今は率直に思います。そのための場も提供できればなと思っていますが、さあ果たしてどうなることやら（笑）。

5. 参加費の経費化について

案外知らない人がいてびっくりしたことがありますので、一応。

僕のセミナーは（というかほぼあらゆるセミナーは）、どんな業種の方であっても、どんなに高額であっても、すべて経費にすることができます。

話を聞いていると、自腹で払ってくれている人も多くて驚いたのですが、是非経費にしてください。金額が金額なので、税金がとても安くなります。自分も成長できて、なおかつ節税にもなる、という素晴らしいものなのですよ、実は（笑）。得た知識や経験は一生もの、それでいて税金も、多い人でセミナー参加費の5割近く浮かすことができます（100万円の参加費なら、50万円浮くということです）。

利用しない手はないと思いますので、もしよくわからない場合は信頼のおける税理士に相談してみてください。税理士も尋常じゃなくしょーもない人間が多い業界なので、もし相談相手がよくわからない場合は、僕が税務の一切合財をお願いしているベンチャーサポートの代表、中村さんを紹介しますので、一報くださいませ。僕が感心した中村さんの名言があります。

「ビジネスでイキナリ1000万円の利益をプラスして残すことはとても難しいかもしれないけど、節税で1000万円浮かすことは本当に簡単なんですよ。」

税務の力もあり、なおかつ税務署と徹底的に戦ってくれる（日本の税理士のほとんどは税務署の言いなりです）稀有な存在だと個人的には思います。

6. リーディングの題材について

これはまあ別に言う必要もないのかもしれませんが、リーディングの最初の講義で扱うのは、カントの「判断力批判」です。理由は別にないです。単に、楽しいから。楽しい割に、誰も読まないから。読んでも、わからないから。っていうか、僕もわからないし。みたいな感じでしょうか（笑）。僕がわかるところはもちろん説明を補いつつ読んでいきますが、わからないところは、みんなで考えようぜ、というのがこのクラスのメインテーマでもあります。教わるのではなく、ともに読みともに考える。そんな気持ちでいてください。

基本的に、このリーディングはあまり熱心な予習を求めるクラスではありませんが、好きなら読んできてくれて構いません。いくらでも読んできてください。解説書も読んでいいですよ。ネットも調べていいです。知り合いに大学の先生などがいれば話を聞いてもいいです。やればやるほど、わかんなくなる危険性を実感できると思いますし（いちわる 笑）。

初回の講義でイキナリ「はい、これ読んで」とカントを渡されても涙目になるだけだと思うので、一応事前に扱う本をお伝えしておきます。そんな感じで、心身ともに準備したい人はしておいてくださいませ。

7. リーディングのビデオ配布に関して

今回、リーディングの講座だけはビデオ配布なし、ということにしています。もともとは音声の配布もありませんでした。というのも、この講座だけは、実際に来てもらって、その場で一緒に読む、という作業が不可欠になるからです。何か特定の知識を僕が解説することに主眼が置かれているわけではなく、他ならぬあなたが目の前にあるテキストを自力で「正しく」読めるようになってもらうことが、唯一にして最大の目的だからです。

ビデオというのは、不幸にして欠席してしまった人のために撮影・配布しているものです。ですから、このリーディングに関しては、それが当たらない。ということで、ビデオ配布はなし、ということになっています。

ただ、最終的に音声の配布は行うことにしました。

これは、欠席した人のためではなく、参加した人の復習用です。僕は結構ホワイトボードなどを使う方なのですが、出席していれば、音声だけくらいの方が、当日の現場を思い出せてちょうどよかったです。欠席した人は、うーん、音声だけではちょっと消化不良になるかなーと思います。すごい頑張って集中して聞かないと、そして読まないで、十分な理解は得られない気がします。

ですので、このリーディングだけは、少なくとも気持ちだけは「全部出席してやるぞ」という感じでいてくれないと、途中で脱落、ということになる危険性が高いかなと思いますので、あらかじめその点考慮の上、受講を検討してください。

8. 定員について

各講座2クラスにしたので、定員がオーバーすることはないと思いますけど（リーディングは怪しいけど）、万が一オーバーした場合は、先着順で受け付けることにします。いつもなら試験なのですが、今回試験は設けません。これはつまり、自己責任で申し込んでください、ということです。ついてこれなくてもなーんも知りませんよ、と。

能力はいりません。いるのは意思です。

ついてくる意思がある人にはとことん付き合いますが、意思がない人、感じられない人、そういう人は放置プレイです。このレベルの講座になると、そーゆースタンスになりますので、あらかじめご理解の上、受講を検討してください。

9. 懇親会について

今回、いずれの講座も半年に一回懇親会がありますが、この懇親会は、実費ではありません。僕のおごりになります。僕の金で、タダ飯タダ酒が堪能できるというわけです。別にスーパー高級な店に招待するわけでもないですし、チェーンの居酒屋で済ませるわけでもないですし、毎回焼き肉というおぞましいプランを立てているわけでもありません。

あくまでも、「懇親」会。

飯を食うというよりも懇親するということを主眼に置いた会にしようと思っています。飲みニケーションなんて言葉もあるわけですが、そんなものだとお考えください。僕は一滴も飲みませんが（笑）。

10. ビジネスクラスにおける1対1のコンサルティングについて

ビジネスのクラスを受講している人には、二ヶ月に一回、1対1でのコンサルティング（60～90分程度）が付属しています。これは、別にビジネスの相談である必要はなく、平たく言えば「木坂の時間を60分～90分差し上げますので、ご自由にお使いください」ということです。

場所は、東京になります。東京以外に僕が出張するという事は、原則としてありません。こちらが指定した場所に来ていただく形になります。

また、厳密に二ヶ月に一回消化する必要もなく、たとえば六ヶ月連続で行ってもいいですし、日程の都合さえ合えば一ヶ月に6回やっても大丈夫です。要するに、1年間を通して、6回僕と1対1で話し合う時間が設けられる、ということです。

あと、これはオフレコですが、と言いつつ完全に文字に残しているのですが（笑）、一年を過ぎても、面談は受け付けます。

たとえば、1年間で2回しか面談を使わなかった人は、残りの4回を、それ以後、使うことができるということです。1年が過ぎた時点で残りもすべて消滅する、というのがどうやら普通のようなのですが、別に消滅させる必要もないだろうし、そもそも僕が必要になる時期なんて人によって違うだろうし、ということで無理して消化する必要はありません。

やっぱり、本当に僕が必要な時に、使ってほしいのです。どうせお互いに時間を使うわけだから、ひとつでも学び多き時間にしたいじゃないですか。ですから、無理矢理消化するなどという愚かなことはせず、1年間の講座が終わったのち、何か疑問に思うことや相談したいことなどが出たら使う、という気持ちの余裕を持ってお望みくださいませ。

今のご時世、僕にコンサルだけを頼もうと思う方が高くなります。90分×6回だけでも、1年分の学費以上になる。それに加えて今回はメール相談回数も無制限です。実際には今はほとんど新規のコンサルは受けませんのでそういう計算や比較が正しいのかどうかはわかりませんが、かつてで言えば、そうでした。もしコンサルを頼みたい、という場合、もしかしたらいつの日か気まぐれ的にコンサルだけ募集することもあるかもしれませんが、そちらを検討するのであれば、この講座を受講した方が、トータルでお得な気がします。

ご参考まで。

1 1. 初回の授業のフォローアップについて。

上記日程を見ていただければお分かりかと思うのですが、実はこの講座は5月末から始まっています。つまり、すでに第一回目のセミナーは終了してしまっているということです。諸々あって紹介が遅れてしまい大変申し訳ないのですが、その点はご了承いただければと思います。

もちろん、ビジネスやインテリジェンスに関してはビデオ配信もありますし、リーディングに関しても初回分のフォローは致します。具体的には補習用の面談を一回（60～90分程度）差し上げます。ビデオを見て音声を聞いて、疑問点などあればご相談ください。ただし、あくまでも「補習用」なので、この面談はそれ以外の用途には使えません。また、3つすべてを受講している場合は、各1回、計3回面談を受けることができます。もちろん必要もないのに無理矢理わざわざ3回来ていただくなんて必要はないですが、同時に1回の面談で全てを無理矢理聞く必要もありません。

必要な時に必要なだけ、お使いいただければと思います。